

5 大会プログラム概要

(1) 開会式（グランシップ（静岡市））

同時開催の意義を深め、選手等の交流を促進する目的で、技能五輪国際大会及び国際アビリンピックの開会式を合同開催する。

(2) 加盟各国が参加する競技（技能五輪国際大会は門池地区（沼津市）の施設、国際アビリンピックはツインメッセ（静岡市））

技能五輪国際大会	正式職種	前回大会の競技職種をもとにワールドスキルズが40職種の範囲内で決定（最低参加国数：12）。光ファイバーに関する職種を初めて実施することを予定。
	デモンストレーション職種	加盟国の提案に基づいてワールドスキルズが決定（当初最低参加国数：6）。
国際アビリンピック	職業技能競技職種	義務的職種（12職種）は以下のとおり。家具製作、コンピュータ・プログラミング、洋裁、電子機器組み立て・テスト、木彫など。（最低参加国数：3、最低参加者：5）それ以外の職種として、知的障害者も含め、職域拡大をアピールするための職種を実施。
	生活余暇技能競技職種	障害のある人のすばらしい才能や能力をアピールする競技職種を実施。職種の指定はないが、実施が義務づけられている。

(3) (2) 以外の競技等イベント（競技会場内又はその近隣）

①日本の優れた技能の紹介

アニメ製作、ゲームソフトクリエイターなどの若者に魅力のある職種や伝統産業に関する職種を、技能五輪国際大会のプレゼンテーション職種として実施。

また、障害者向け職種として職域拡大をアピールできるもののうち、参加者が少ないために職業技能競技としての実施が困難なものを国際アビリンピックのデモンストレーションとして実施。

②障害者の支援に関する企業の取り組み事例

(4) 併催イベント（競技会場内又はその近隣）

①世界技能会議

障害者を含めた職業能力開発に関する国内外の専門家、関係者が一同に会する国際会議を開催。

②産業観光など開催地の特色を活かしたイベント

③その他

若者に魅力のあるものや子供を対象とした体験型のものなど、発信力、集客効果のあるイベントを実施。

同時開催を象徴するイベントとして障害者と障害の無い者とが協力して取り組めるものなど、大会を象徴するイベントを実施。

(5) 閉会式（技能五輪国際大会はキラメッセぬまづ、国際アビリンピックはグランシップ）